



図書館だより

NO.8



丸亀市立綾歌中学校 平成30年 1月号

新しい年となって半月が経ち、暦の上では「小正月」を迎えました。

「正す」という言葉には、「改めなおす」「始め」などの意味があります。つまり「正月」とは、“古い一年を終えて、新しい一年を改めて始める最初の月”ということです。

去年よりも1冊でも多く読むことや、新たなジャンルの本に挑戦することなど、読書に関しても自分なりの目標を立ててみましょう！

今年も素敵な本との出会いをサポートしていきたいと思っていますので、ぜひ図書館に足を運んでみてください。

こしょうがつ 小正月

元旦から7日までを「大正月」と呼ぶのに対し、15日を中心にした数日間は「小正月」と呼ばれます。旧暦では満月から満月までを1か月と考え、15日を月の初めとしていました。新暦となって1日が正月とされてからも、15日も旧正月として祝われてきました。今でもこの時期は、どんど焼きなどの様々な行事が各地で行われています。

二十四節気〈小寒・大寒〉

冬至から15日目にあたる、寒い冬に入る頃を「小寒」（1月5日）と呼び、冬の一番寒い時期を「大寒」（1月20日）と呼びます。

「小寒」の日は“寒の入り”で、この日から立春前日の「大寒」が終わる日までを“寒の内”と言います。

この間は一年でも寒い時期です。



今月の 新刊より

『ニッポンのおみくじ 日本全国232種のおみくじを引く』
鏡木麻矢（グラフィック社）



みなさんは初詣に行っておみくじを引きましたか？神社へ行けば必ず引くという人も多いと思います。

吉凶に一喜一憂し、大吉が出ればお守り代わりに持っていて、それ以外は寺社に結んで帰る・・・という古来から親しまれてきたおみくじですが、実は奥が深いのです。この本では、おみくじのルーツや種類、神社とお寺の違い、吉凶の内容や引き方、扱い方など、おみくじにまつわる疑問を解消していきます。

定番の紙だけのおみくじから、かわいいマスコット付きの物まで、全国232種のおみくじが写真入りで掲載されていて、ながめるだけでも楽しめます。香川県は金刀比羅宮の「こんぴら狗開運みくじ」が紹介されていますよ！こんぴら狗の置物の背中に入っているおみくじを引き、お代は首に下げた袋に入れるというシステムだそうです。





新しく入った本



〈単行本〉

たゆたえども沈まず	原田マハ	売れない画家のフィンセント・ファン・ゴッホは、パリにいる画商の弟テオドルスの家に転がり込んでいた。そんな二人の前に浮世絵を売りさばく日本人、林忠正が現れる。
涙香迷宮	竹本健治	明治の傑物・黒岩涙香が残した最高難度の暗号に、IQ208の天才囲碁棋士・牧場智久が挑む！
みちこさん英語をやりなおす	益田ミリ	もう「わかったふり」はしない。家庭教師に納得できるまで尋ねることを決意した主婦みち子が英語の勉強をやりなおす。
覚えておきたい総理の顔	本間康司	初代・伊藤博文から日本の歴代総理大臣を似顔絵にして紹介。数々の名語録や横顔などをまとめて時代順にたどる。
西郷どん大百科	ライブ	薩摩を愛し、人を愛し、武士として最後まで生きた男・西郷隆盛のすべてがわかる大百科。幼少時代から西南戦争まで徹底分析するとともに、関連人物をイラストと貴重資料で解説している。
マンガでわかるメンタルトレーニング	児玉光雄	スポーツでもビジネスでも、一流と呼ばれている人に共通する特徴は“精神的にタフ”なこと。どうすれば弱い精神面を鍛えることができるのか。誰にでもできるトレーニング方法を解説。
刀語 第11話	西尾維新	刀「鍔」を持つ鳳凰を追い、とがめと鑓七花は伊賀の山中へ向かう。そこで“乱世”を貫く壮大な秘密が明らかになる。

〈文庫本〉

車椅子バスケのJリーガー	京谷和幸
細雪	谷崎潤一郎
太陽のパスタ、豆のスープ	宮下奈都
忍びの国	和田竜
ロボット・イン・ザ・ガーデン	デボラ・インストール
ロボット・イン・ザ・ハウス	//
ラストレシピ	田中経一
ホペイロの憂鬱／JFL篇	井上尚登
君を愛したひとりの僕へ	乙野四方字
神様の御用人	浅葉なつ
アシガール	森本梢子
余命10年	小坂流加
打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？	岩井俊二

